泌尿紀要 第31巻 第11号 1985年11月30日 発行（毎月1回 月末発行）1983年6月10日 第3種郵便物認可 ISSN 0018-1994

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 31, No. 11 ACTA UROLOGICA JAPONICA November 1985

泌尿器科紀要

第31巻 第11号 1985年11月

β2 マイクログロブリンの尿中排泄動態からみた腎摘後の残腎尿細管における代償性機能変化の検討……東 義人・ほか…1897
経皮的腎瘻造設術について—その方法と問題点……東 義人・ほか…1907
腎細胞癌の臨床的研究……内田 豊昭・ほか…1919
腎癌の術前評価に腎動脈造影は必要か……林正 健二・ほか…1927
膀胱腫瘍の臨床病理学的研究
—免疫組織化学の細胞診への応用—……長田 恵弘・ほか…1931
膀胱移行上皮癌に対する膀胱全摘除術の治療成績……田中 成美・ほか…1939
膀胱腫瘍に対する 4'-epi-adriamycin の膀胱腔内注入療法に関する基礎的研究……津島 知靖…1945
前立腺性酸性フォスファターゼの免疫酵素測定法……布施 秀樹・ほか…1957
非淋菌性尿道炎の臨床的検討……村上 信乃・ほか…1965
男子不妊症における精漿中亜鉛濃度および総亜鉛量
—とくに前立腺分泌能との関係について—……眞田 俊吾・吉田 修…1971
血尿に関する臨床統計……岩田 真二・ほか…1989
東札幌三樹会病院における臨床統計
第5報 1984年度入院患者統計……丹田 均・ほか…1995
男性化手術を施行した女子先天性副腎皮質過形成
(21-hydroxylase 欠損) の1例（英文）……奥山 明彦・ほか…2003
内分泌非活性副腎皮質腺腫の1例……白水 幹・ほか…2007
腎嚢胞内結石をともなった孤立性化膿性腎嚢胞の1例……長田 恵弘・ほか…2015
腎血管性高血圧症に対する
percutaneous transluminal angioplasty……角谷 秀典・ほか…2021
腎洞より発生した Malignant paraganglioma の1例……島居 徹・ほか…2027
多発性腎海綿状血管腫の1例……中村 正広・ほか…2035
男子尿管異所開口の4例 —逆Y尿管の1例を含む—……梶川 博司・ほか…2039
膀胱原発印環細胞癌の1例……平澤 精一・ほか…2049
好酸球性膀胱炎と後腹膜神経鞘腫の合併した1例……橋本 博・ほか…2055
睾丸海綿状血管腫の1例……小川 修・ほか…2060
左交叉性睾丸転位に Hernia uteri inguinalis をともなった1例…日原 徹・ほか…2065
再発性特発性蓚酸カルシウム尿路結石症に対する
アロプリノール（ザイロリック®）の結石再発予防効果の検討……園田 孝夫・ほか…2071
Ceftizoxime (CZX) の前立腺組織内移行について……若月 晶・ほか…2080
尿路感染症に対する Norfloxacin の臨床的検討……松浦 健・栗田 孝…2085
淋菌性感染症の疫学的治療学的研究
—Aztreonam による one shot 療法の検討—……熊木 悦明・ほか……2090

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購 読 要 項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月，年12回とし，年間購読者を会員とする．
2. 会員は年間予約購読料6,000円（送料とも）を前納する．払込みは振替に限る．口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛．
3. 入会は氏名，住所を記入のうえ編集部あて，はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します．

投 稿 規 定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る．
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり，総説，原著，症例報告，そのほかで和文または英文とする．
   (1) 普通論文の長さは，原則として，刷上り本文7頁（400字×28枚程度）図（Fig）10枚，表（Table）5枚までとする．
   (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き，楷書，当用漢字，現代かなづかい，平がなとし，清書する．文中欧語の固有名詞は大文字で，普通名詞は小文字で始め，タイプし，年号は西暦とする．
   (イ) 原稿の表紙に標題，所属機関名，著者名の順に和文で併記する．下段に筆頭著者名（山田：または山田・ほか：）と，2語（例：前立腺がん・PSA）からなる running title を付す．
   (ロ) 英文抄録：和文の表紙，本文とは別に標題，著者名，所属機関名，5語（英文）以内の Keywords，抄録本文の順にダブルスペースでタイプし，その和訳をつける．
   (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし，原稿の表紙に標題，著者名，所属機関名，Key words（和文に準ず），running title（和文に準ず）の順にタイプし，別に標題，所属機関名，著者名，抄録の順に記した和文抄録を付す．
   (4) 数字はすべて算用数字を使用し，単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μg, %, °C, pH などとする．
   (5) 図，表，写真などはすべて別紙とし，写真はトリミングする．説明文は一括して記載し和文，英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする．英文が望ましい．原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する．図・表は誤りのないことを確認のうえ，トレースして紙焼したものが望ましい．様式については本誌の図・表を参照する．
   (6) 引用文献は必要最少限にとどめ，引用個所を本文中に入れる．その数は30までが望ましい．和文は楷書で，欧文はタイプする．
   （例：山田[1,3,7]，田中ら[1,3,~10]によると）
   雑誌の場合—著者名（全員）：題名．雑誌名 巻：最初頁～最終頁，発行年
   単行本の場合—著者名（全員）：題名，書名，編集者名，版数，巻数，引用頁，発行所，出版地，発行年
   (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する．
   (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し，それに従って編集部は原稿の訂正，書き直しまたは返却を指定する権限を保持する．
   (9) 校正は初校を著者による責任校正とし，再校以降は編集部がおこなう，著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する．
3. 掲 載
   (1) 論文の掲載は採用順とする．迅速掲載には迅速掲載料を要する．
   (2) 紙代，印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する．残額を実費負担とし，請求は論文掲載誌発行後におこなう．論文の長さが超過した場合，超過料を別途に申し受ける．
   (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機具の使用などにかんする研究論文については，掲載料を別途に申し受ける．
4. 別 刷
   実費負担とし，著者校正時に部数を指定する．

編集委員： 石神 襄次　前川 正信　宮崎 重　新谷 浩
園田 孝夫　友吉 唯夫　吉田 修（主 幹）

泌尿器科紀要 第31巻 第11号　1985年11月25日 印刷　1985年11月30日 発行
発行 吉田 修　顧問 加藤 篤二　発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入